

きらく庵便り

2007年8月 (株)アットホーム・デイサービス喜楽庵一同

4

<楽しみました>

6月末頃から七夕飾りを作り始めました。スタッフがスイカやきゅうり、星や月の型を用意し、利用者さまに色を塗って頂きました。

その際に、ちょっとしたハプニングが起ったのです。黄色で塗っていただいた20cm程ある大きな三日月がしばらくすると緑の皮が描かれ、大きな黄色スイカに変身してしまいました。



その方は裏面も同じように三日月にしようと塗っていたのですが、近くに他の方が塗ったスイカがあり、どうも、それが目に飛び込み同じスイカに仕上げてしまわれたようです。声をかけると、ご本人も「あれ!? スイカやな」と笑っておられました。

短冊を用意し願い事を書きましょうとお誘いするも、たいていの方は字が下手だからかけない、書かないといわれます。それでも代筆するのでと言うと、みなさん願い事を教えて下さいました。みなさん言葉は様々ですが、お金や健康に関することが多くみられました。なかには亡くなられたご主人を思い“夢でもいいから主人と逢えますように”と願い事をされる方もおられました。

お知らせ

昨年の8月に夏祭りを催したところ、利用者さまに楽しんでいただけたので、今年も開催を予定しております。

日程は、8月14日(火)、15日(水)16日(木)の3日間です。

一度、利用者さまが、夏祭りをお楽しみにいられている様子を、ご家族の方も一緒にご参加いただき、ご覧いただければ幸いです。

なお、ご参加ご希望の方は、事前にご連絡してください。

連絡帳か

デイサービスをご利用して頂く際、連絡帳に利用時の様子を書かせていただいています。

現在、デイサービス側からの一方向のやり取りになっていることが多いと思います。でも、この連絡帳を通してご家族様の抱えている悩みや思いなどを知り、相互にコミュニケーションが取れたら・・・と考えております。また、普段ご自宅で見せる利用者さまのお顔、様子がわかると、より一層、その方の把握ができると思っています。

“こんなこと相談していいのかなあ”と思われていることなどがございましたら、連絡帳にご記入して頂けると幸いです。



3月19日

A 様

人当たりが良い母ですが、一緒に生活をして歳をとるということは、人格を失っていく事と感ずます。

長男と父をなくし、取り残された母の気持ちを思うと私も涙することがありますが、気を取り直し、弟と協力して老いていく母を見守ろうと思っています。

人格を失っていくのは寂しいものですよ
ね。

親子の間の確執も身近に接しているとつ
いカッとなったり、後悔してしまうことが多
いものですね。介護のプロセスはストレスが
多く大変だと思います。

ゆとりのある時にはお年寄りの抱えてい
る不安感情に「共感」をしてあげて下さい。
あまり頑張りすぎないで下さいね。



スタッフ

イラストは、架空の人物です。